

🍏 コミわか 土曜朝市

全て雨なし ～盛況に終了～

昨年7月20日に始まったコミわか土曜朝市は、12月7日の最終回をもって盛況のうちに終了しました。13回の全ての開催日は天候に恵まれたこともあり、1回平均21万円の売り上げをあげました。後半はお客様の増加、米、リンゴなど商品単価が上がったことから30万円を超える回もありました。買い物客は1回当たり概ね200人を超え、固定客も増えて一定の定着化が図られました。

マイドカード

来店都度スタンプを押して、スタンプの数に応じて景品を差し上げるサービス「マイドカード」を9月末から始めましたが、7回全てに来店していただいた皆勤賞のお客様が24名にのぼるなど、お客様の反応は上々で最終回にはシクラメンの花鉢や洗剤などを進呈しました。皆勤賞のお客様の住いは若槻団地、徳間が過半数を占め、続いて、若槻東条、稲田などで、中には箱清水のお客様もいらっしゃいました。

ふじまつり

11月30日の「ふじまつり」では、稲田区育成会の子どもたちが地元醸造の甘酒の販売をして、売り上げをフィリピン台風の寄付金にしてもらうなど、少しの社会貢献もできました。

野沢菜まつり

12月7日の「野沢菜まつり」では、漬け込み実演などがあり、持ち込まれた山のような野沢菜が数分で売り切れるなど熱気に満ちた最終回になりました。



にぎわう開店直後の会場 11/30

出店者と支えてくれた皆様

出店した農家は委託販売で平均6件、軽トラで13台、豆腐屋さんに加え、後半はお味噌屋さん、生そば屋さん、花屋さんも加わり、バラエティーに富んだ品物が出そろいました。

期間を通して、店や会場の運営は、朝市の会のスタッフ会員に加えて、福祉健康部、コミわかグリーン倶楽部の役員、会員。加えて地域のボランティア団体の皆様、清泉女学院大学の学生さん達に加わり、大いに盛り上がりました。



買い物の後は、お茶のみコーナーで交流

新年度に向けて

26年度に向けた計画は、会員農家、運営スタッフや利用者の意見を十分聞いた上で、「土曜朝市の会」を中心に今後詰めていくことにしていますが、運営にはコミわか役員はもとより各種ボランティア団体、学生などのできるだけの多くの住民に参加してもらい、更に多くの地元農家に出品してもらえるような環境を整えていくことが課題となっています。